

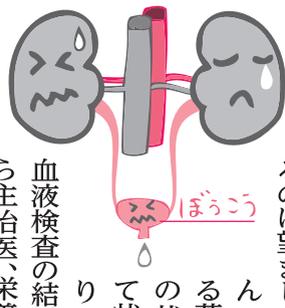
腎臓病と  
カリウム



腎臓が悪い場合は、カリウムを取り過ぎない方がいいと言われましたがなぜですか？



健康な人では体内にカリウムが増え過ぎると尿から排せつされますが、腎臓が悪くなると必要なカリウムが排せつされずたまってしまいうからです。ただ、腎臓病の方がみんな制限を必要とするわけではなく、腎機能の重症度が慢性腎臓病（CKD）ステージ3b以降の患者さんに制限が推奨されています。カリウムが腎臓を悪くすると思っている方もいるようですが、そうではなく、カリウムがたまり過ぎると突然死を起こす不整脈



を引き起こすことがあるためです。しかし、野菜や果物にはカリウムだけでなく、体に必要な食物繊維やビタミンが含まれており、必要以上に制限し過ぎたり、一律に制限するのは望ましくありません。飲んでい  
る薬や腎臓病の状態によって状況は異なりますので、血液検査の結果を見ながら主治医、栄養士の先生に相談しながら判断していくことがいいでしょう。



高知高須病院  
理事長 池辺 弥夏さん

高知市大津乙2705-1 TEL088-878-3377 (腎臓内科)